



Next Seminar



May, 14, 2024

5/14 組織・仕事の温度差ゲーム研修体験セミナー～メンバーの価値観を相互理解する～

本セミナーでは、組織内や仕事の中にある温度差を理解し、より良いコミュニケーションとチームワーク、組織文化の構築に必要なスキルを体験的に学びます。

詳細 : <https://qr.paps.jp/v9zd>

恩師との忘れられる出会いと継承した言霊

私が学生時代からお世話になり、弊社顧問でもある恩師の応用工学研究所・所長の広沢曄夫先生が3月30日に91歳で永眠しました。

現代を生きる人にも多くの示唆と学びを与えてくれるものと思いますので、時々、アントレ・ラボ通信でもご紹介してゆければと思います。

その前に広沢先生と私のなり染めもご紹介させて頂ければと思います。

広沢先生は、東京大学の生産技術研究所で「日本の宇宙開発の父」と呼ばれている糸川英夫教授のもとでペンシルロケットなどを開発しておりました。

その後、東京大学の生産技術研究所をやめて、応用工学研究所を設立。

大手企業の顧問やアドバイザー、当時の通商産業省（現在の経済産業省）でもベンチャー支援でアドバイザーを務めたり、様々な委員などを歴任されるかたわらで、全国の中小企業をはじめ、

いろいろな介護施設などをまわりながら、自分の持てる知識や人脈を紹介しておりました。全国の中小企業の経営者が日参で広沢先生のところに相談にきておりました。

広沢先生は、頼まれたら断らない。相手の話は必ず耳を傾けて聴く。生涯、その信条を貫きとおした人生であり、それを体現されていた方だと思います。

私が大学1年生の時に、とある会社のセミナーで広沢先生とはじめてお会いしました。

広沢先生のお話を聞いて、すぐに先生のところインターンを申し出てから28年。28年間、変わらぬお付き合いをさせて頂いたことは私の宝物であり、誇りです。

私が学生時代の主催していたビジネスコンテストで審査委員長をして頂きました。

いまの会社の顧問の就任をお願いして、快諾をして頂きました。長い間大変お世話に広沢先生の言霊を、こうした形で社会に発信していくことは先生の言霊を継承するものの役目として務めてゆきたいと思います。



広沢先生には、28年間大変お世話になりました。最近ではコロナで4年間ぐらいお会いすることはできなかつたのですが、毎年夏と年末年始にご挨拶に行き、広沢先生と話したことが昨日のように思い出されます。先生の言霊を受け継いで参ります。長い間ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今回のコラムは、広沢先生が書き残されたエッセイを掲載させて頂ければと思います。

タイトル：「思考の構造塾」

人は誰でもいつも何に対しても「なんでだろう」「どうしてだろう」と思いながら生きているが、それもいつの間にか無関心になっていく。

無関心でも毎日生活はしていけるからだろう。子供の頃は見るものや聞くことがみんな不思議に思えた。「蟻は何故行列を作って歩くのだろう」

「カタツムリは足がないのにどうして前に進めるのだろう」

「トンボはどうして空を飛べるのだろう」

幼い頃は何から何まで不思議なことばかりだった。幼児が母親に「ママあれなーニ?」「ママどうして?」と聞いている光景をよく見かける。

新しいことへの関心が高まり、日本では最初のロケット研究の道へ進むことになった。

今思えば自然界の小さな動物や昆虫だけではなく、人工物の世界も不思議だらけだった。

今の子供達も「300人以上の人間を乗せたジャンボジェット機がどうして空を飛べるのだろう」「遠く離れた人とケータイでどうして話が出るのだろう」と不思議に思うだろう。

社会人になってから人間という動物の不思議さに大きな関心を持つようになった。同じ人間でありながら考え方も行動も一人ひとりみんな違う。

「大金持ちの人と貧乏人の差はどこにあるのだろう」こんなにも大きな差ある動物はほかにはいない。

人間の値打ちは何で決まるのか。それは人間が他の動物と異なり知的成長があるからだ。

知的成長とはどんなことなのだろうか等々。

これまで多くのいろいろな人達と出会い、お付き合いをしてきた。

その経験の中から自分なりに気が付いたり、学びとったりしたことを長年に亘って書き綴り、応研の研究会で発表してきた。

その源泉になっているのが「人の思考と行動」である。

この「思考と行動」のもともとのタイトルは「見えない知を探る」だったが、体験を重ねるうちに「浮遊知」という言葉を思い付き、「目に見えない知」を考えるようになった。

「思考の構造塾」はこのような経緯があって誕生した。



風船会計研修体験セミナー

いま話題の風船会計。風船を使い、わかりやすく会計を学ぶための研修。

大手企業でも社員全員に受講させる企業も増えております。

体験セミナーを企画中ですので、楽しみにしてください。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ
仲津定宏

広沢先生のエッセイには、見えない知、「浮遊知」の話が良く出てくる。

知を見える化することも大切ですが、そして何よりも一次情報で、その場に行かないと学ぶことができない、感じるできない、「浮遊知」を感じ、学ぶことが一番大切なように思います。

研修実施報告

光線銃を使ったサバゲー研修実施報告



先日とある大学にて、新入生約120名に対して光線銃を使ったサバゲー研修を実施しました。コロナ禍で大学生同士のコミュニケーションも気薄になる中、対面で楽しみながらコミュニケーションを図り、チームとは何か。そして入学して友達になる1つのきっかけとなる研修をしたいという大学の先生からの要望からスタートしたサバゲー研修。

今回は講師を含め、スタッフ全員が元自衛隊という本格的な感じですが、最初は緊張していた大学生もすぐにお互いに共通の目的の中で、楽しみながら作戦会議をしたり、情報を収集をしたり、声を出して助け合いながらチームの本質を学んで頂くことができたのではないのでしょうか。優勝したチームには、恒例のラスボス、この大学にあるサバゲー部の皆さんとの対戦も大いに盛り上がりました。

先生にもとても喜んでもらい、来年も別の学科も入れ、規模を再び倍にしているの実施になりました。